『人口減少社会における「団塊の世代」の活用について』

本県の現状・将来分析

	2005	2030
●総人口	82.7 万人→	72.8 万人
		▲12.0%（全国▲7.9%）
●高齢化率	22.2%→31.2%	
		約 3 人に 1 人が高齢者に（全国 29.6%）
●団塊の世代	約 4.5 万人在住	
		直前世代の 1.7 倍の人口（全国 1.5 倍）

人口減少社会の課題

- ●労働力人口の減少
- ●経済成長へのマイナス要因
- ●高齢者関係社会保障費の増大
- ●高齢単独世帯等の増加
- ●世帯の小規模化

人口減少社会の諸課題に適切に対応するためには、「団塊の世代」の知識・能力・経験を活かし社会に貢献してもらう仕組みづくりが不可欠！

団塊の世代の意識･行動等の特徴

- ●高い就業意欲
- ●収入、貯蓄は潤沢
- ●「趣味・レジャー」への高い消費意欲
- ●健康状態は概ね良好
- ●社会参加への意欲
- ●「ふるさと暮らし」への志向

団塊の世代のリタイアをにらんだ施策

連携

「創る」
―元気な団塊の世代―

- ●健康づくり
- ●生きがいづくり
- ●仲間づくり

《考えられる具体的施策例》
- ・「地域保健」への円滑な移行促進
- ・「達年講座（仮称）」の開催
- ・ＨＰによる情報提供の充実

等

連携

「活かす」
―熟練の団塊の世代―

- ●産業振興面での活用
- ●地域振興面での活用

《考えられる具体的施策例》
- ・定年就農支援
- ・熟練人材バンクの充実
- ・地域課題への専門能力活用

等

連携

「呼び込む」
―自然派の団塊の世代―

- ●定住促進
- ●交流促進

《考えられる具体的施策例》
- ・ワンストップサービス
- ・三大都市圏で効果的 PR
- ・余剰住宅循環システムの構築

等

人口減少社会の進行下にあっても「活力ある社会」を実現する先行モデルを確立